

# 姫天だより

$\alpha$ 星・ $\beta$ 星あたりから西隣の南十字座にかけてすばらしい天の川が流れていて双眼鏡で星空散策するには最高の場所なのですが、残念なことに、この部分は可児市からは見られません。しかし、全天で最もすばらしいといわれる球状星団である $\omega$ 星団は可児市からも見つけることができます。けれども地平線近く大気の影響と光害の影響で写真で見られるような迫力ある星団とは違ったイメージに感じられると思います。

## ★今月のテーマ二重星を観る会Part 2

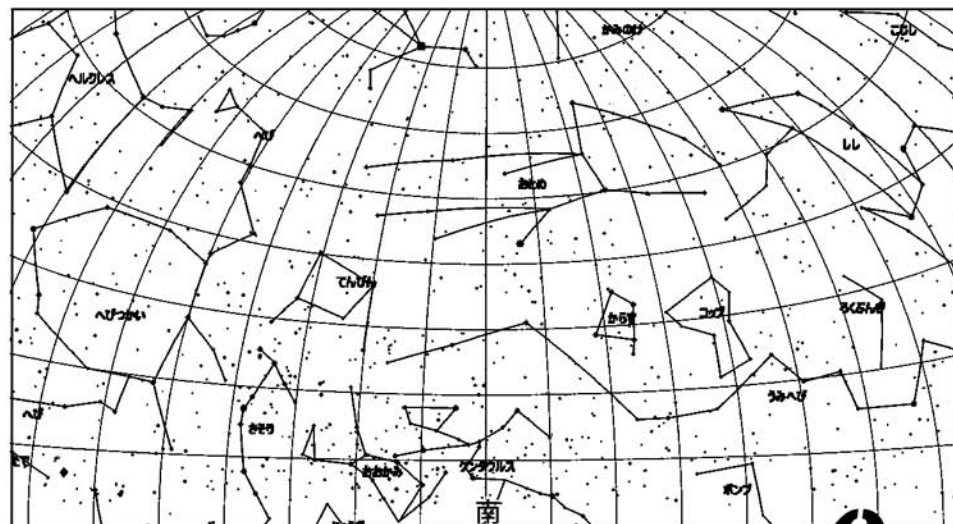
先月に続いて二重星を巡りたいと思います。アルビレオ、ダブルダブルスター、コルカロリ、どんな色の違いや、2つ、4つに分離して見えるかな？

また、天の川銀河を取り巻く球状星団の中でも大きなM13を見てみましょう。

※今月の臨時観望会 部分日食を観察しよう（6月22日、日曜日16:00～）

そして6月21日（日曜日）晴れていれば臨時の観望会を16:00から開催します。この日はアフリカからインド台湾にかけて金環日食が見られます。残念ながら日本では部分日食ですが、可児市でも見られますので、臨時の観望会を行いたいと思います。

17時10分ごろに最大に欠け食分0.51、日食グラスや太陽投影版、太陽望遠鏡で観察したいと考えています。願いを込めて晴れるといいな。



6月15日午後8時の南の空

6月号  
2020

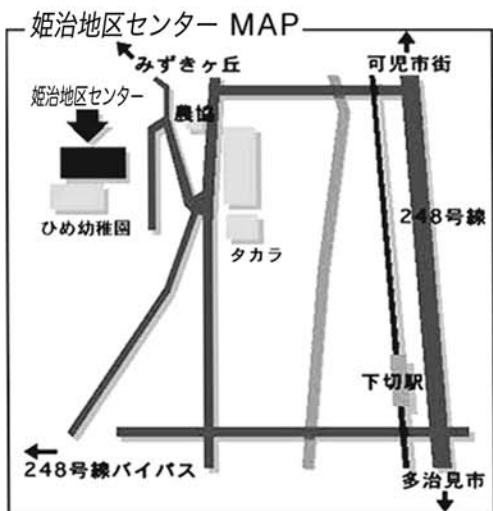
## -次回の天文クラブ-

### ●6月の星を見る会

6月の例会はコロナウィルス対策により中止になりました。

### ●7月の星を見る会

7月の例会はコロナウィルス対策により中止になりました。



JR太多線下切駅より徒歩13分  
2020年6月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは  
姫治地区センター (62-0104) まで

姫治地区センター  
岐阜県可児市下切 1530  
☎0574-62-0104  
姫治天文台  
<http://himeziten.yu-yake.com/>

## ★今月の星座 ケンタウルス座

6月上旬午後8時ごろに、真南の地平線近くに見られない明るい星が光っていてなんだろうと驚かされるときがあります。うみへび座のしっぽの南にあるこれらの星ばしの並びは、半人半馬を形どったケンタウルス座の上半身にあたります。

ケンタウルス座は大きな星座ですから、可児市からは全ての星は見られません。残念なことには九州より南に行かないと見ることができません。沖縄や海外の南の島へ出かけた時にはぜひ探してみてください。 $\alpha$ ケンタウルスは太陽から一番近い恒星として知られ、その距離は光のスピードで4.3年の時間がかかります。呼び名はリギル・ケンタウルス（ケンタウルスの足）の意味があります。もう一つの1等星 $\beta$ 星には、ハダルの呼び名がありこちらは（地面）の意味があります。こちらの方がわずかに暗いのですが、距離は400光年も離れています。実際には $\beta$ 星のほうがはるかに明るい星です。

ケンタウルスは半人半馬の一族の名で、この星座になったものの名前ではありません。この半人半馬は酒の神ディオニュソスの養父シレノスの子のフォーローで、エウリマントス山へ猪をつかまえに行ったときヘルクレスと親しくなり酒を酌み交わすことになりました。ところが、酒の臭いで馬人たちが集まり、ヘルクレスに襲いかかってきたため、ヘルクレスは矢を放って追いはらいました。その時矢に刺さって死んだ馬人の矢を抜こうとしたフォーローは、やじりの毒にあたって死んでしまいました。大神ゼウスはフォーローの死をいたんで星座にしたといわれています。

裏面に続く